

安全ニュース

第14号
2008.9.1

発行所・(社)春日井市
シルバー人材センター
編集責任者
安全委員長 宮崎 利雄

気のゆるみ慣れと油断が

事故のもと

全国労働衛生週間

準備期間 九月一日～三十日
実施期間 十月一日～七日

あなたが主役明るい職場と健康づくり

みなさん、毎日のお仕事御苦労様です。
今年も十月一日より全国労働衛生週間が実施されます。

この週間は、すべての働く人たちが、快適な職場環境の中で、心身ともに健康な毎日を過ごすことを目指して行われているもので、昭和二十五年に第一回が実施されて以来、今年で五十九回目を迎えます。

この機会に職場環境を見直すとともに、ご自身の健康についても今一度考えてみましょう。今年の週間スローガンは「あなたが主役明るい職場と健康づくり」です。

後期高齢化医療制度などで何かと取り扱いが問題視されています、私たちシルバー人材センター安全委員会では皆

さんの健康管理を重要課題とし、毎月一回、市内の専門医による健康相談を開催しています。

日常皆さんが健康面に関していることなどを含め成人病の予防方法、病気の悩み日常生活面に於ける健康管理や維持増進などを主に実施しています。

平成十八年十月より開始以来延べ百数十名の方が相談をされています、自分の健康は自分で守るということから是非この制度を利用され健康管理に役立てて下さい。

作業環境などを含め、心とからだ両面から健康管理対策を進めていきます。

どうか皆さんもこの週間を機会にご自身の健康管理に十分留意されともに健康で明るい職場作りを目指しましょう。

安全委員長 宮崎 利雄

蜂に注意しよう

9月も厳しい残暑が予測されています、今年の夏は猛暑で蜂の動きが活発でした。

10月までは要注意です、蜂の特性などを知って被害にあわないよう注意しましょう。

I 蜂の種類と刺す時期について

スズメ蜂・・・7月～10月

アシナガ蜂・・・7月～9月

II 特徴

黒い色に激しく反応します・・・黒髪、黒の衣服帽子、などが攻撃の対象になります

巣の周辺数m～10mの範囲に偵察蜂が飛びまわります

音と振動、臭いに敏感です・・・大声で騒ぐ、香水や整髪剤は避けましょう

III 蜂の脅威から身を守るための服装等

身体を露出しない白や黄色等の明るい(長袖、長ズボン)等を着る

蜂が近づいてきたら、静かにそっと背を低くし危険地域から早く遠ざかる。

IV 蜂に刺されたときの応急処置

蜂に刺された場所から速やかに離れる。

毒針が残っていたら、速やかに取り除き患部の周辺を指でつまみ毒を出す。

水で濡らしたタオルや氷で患部冷やす、抗ヒスタミン軟膏を塗る。

第四回安全委員会の報告

- 一、開催日 七月七日(月)
 二、場所・春日井市シルバー人材センター
 三、議題・活動事項

①健康相談について(実施)

七月三日(木)午後二時～十六時
 相談者・十名

産業医 井上医院 井上 義基院長

②健康相談について(予定)

八月七日(木)午後二時～
 産業医すずらんクリニック

藤 脇 佐世子院長

③安全運転講習会一般について(実施)

日時・六月二五日(木)

場所・春日井市総合体育館2階

参加者・六十二名

内容・適性検査(筆記)・ヒアオ・講話

講師・交通安全協会(平針)

服部誠司氏

④「安全適正就業強化月間」(七月一日～

三十一日)「JOC」

*飛び石事故ゼロキャンペーンの実施

除草班1班～6班の6チームが参加し
 実施中、

*安全パトロール

七月十五日・十六日に除草班1班～6
 班を対象に実施予定

⑤その他

安全運転講習会のアンケートについて
 次回より開催する講習会について、参加さ
 れた方より、受講した感想等をアンケート
 方式で提出して頂き、今後の講習会に活か
 したいと思っております、ご協力を願います。

第五回安全委員会の報告

- 一、開催日 八月四日(月)
 二、場所・春日井市シルバー人材センター
 三、議題・活動事項

①健康相談について(予定)

八月七日(木)午後二時～
 相談者・十名を予定

産業医・すずらんクリニック

藤 脇 佐世子院長

②健康相談について(予定)

九月四日(木)午後二時～
 産業医・竹村整形外科

竹 村 隆 志先生

③安全・適性就業強化月間について

期日・七月一日～三十一日

項目・飛び石事故ゼロキャンペーン実施中

七月十五・十六日に草刈班(一班～班)
 を対象に安全パトロールを実施した。

チェック項目を①服装 ②草刈作業

③パッカー車 ④その他とし

安全委員延べ十二名により実施、指摘事
 項として四件の指摘があった、対象班に

改善対策案を伝えた。

シルバー団体傷害保険による型別事故件数

全国のシルバー人材センターで発生した平成17年から19年度における事故件数です、転倒事故がトップですが次に蜂刺されが続いています、お互い作業時、危険予知を行い無事故を築きましょう

